

～こどもと考える、助け合うまるがめまちづくり2026～ 「キミならどうする？」から始まる困ったときのたすけあい体験

目的	<p>①演劇的手法を用いた体験型プログラムにより、こどもたちが日常生活の中で直面する様々な困りごとに対し、重層的支援という支援方法や考え方がどのように活用されるのかについて理解を深めます。</p> <p>②将来的な相談行動や地域における支え合いにつながる意識の醸成を図ります。</p>
概要	<ul style="list-style-type: none">・小学校5・6年生を対象に、演劇的手法を用いた体験型プログラムを通して、困りごとを一人で抱え込まず、相談したり助け合ったりすることの大切さを学びます。・日常生活で起こり得る身近な困りごとの場面を映像や演劇で表現し、「自分だったらどうするか」を考え、話し合うことで、重層的支援の考え方を分かりやすく伝えます。
実施時期	令和8年10月下旬～令和8年12月初旬(予定)
実施小学校	市内小学校の意向確認の上、決定【8校で実施予定】
実施団体	ありんこ企画 演劇的手法を用いたワークショップ等を通じて、世代や立場を超えた相互理解と協働を促進することを目的とした市民団体です。

